



校報

水糸者

No. 1273

元年度・第132号

『財産』となる家庭学習を！

…「第2回小中連携家庭学習強化週間」へのご協力、ありがとうございました…

「第2回小中連携家庭学習強化週間」の結果がまとまりましたので、お知らせします。

1. 1日の平均学習時間について

①は今回の結果、②は令和元年6月、③は30年11月、④は30年6月の結果

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	平均
時間 (分)	①	34	41	42	54	79	52	
	②	29	30	41	46	76	53	
	③	29	36	52	55	60	56	
	④	27	34	61	52	68	61	
達成率 (%)	①	82	67	71	84	96	31	72
	②	58	53	43	73	94	48	62
	③	64	81	85	69	64	57	71
	④	62	79	100	72	77	78	78

2. ノーメディア（10の約束）について

①は今回の結果、②は令和元年6月、③は30年11月、④は30年6月の結果

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	平均
達成率 (%)	①	88	80	84	85	85	73	83
	②	93	81	87	86	87	73	84
	③	72	91	92	73	71	80	81
	④	72	85	88	76	76	76	79
児童割合 (%)	①	64	58	64	63	55	31	56
	②	85	47	62	78	59	35	61
	③	33	76	75	31	14	54	50
	④	43	63	64	38	44	42	49

【今回の傾向や課題など】

- ・「一日の平均学習時間」がほぼ全学年で、前回より向上がみられる。
- ・目標時間の達成率には、学年差が大きくなっている傾向がある。
- ・「ノーメディア（10の約束）」の達成率は、前回より微減の傾向である。
- ・「一日の平均学習時間」、「ノーメディア（10の約束）」とも、できている子(家庭)とできない子(家庭)の二極化が大きくなってきている。



今回のアンケートの提出率は98%でした！ご理解とご協力に感謝いたします。

今回も効果と成果が表れた半面、「ノーメディア（10の約束）」の実態からは、親も知らない子どもの深刻な実態が見えています。裏面に掲載したデータもその事を物語っています。

深刻な実態です！

ゲーム機・
スマホ…

昨年度まで実施した「CRTテスト」に代わる新テスト「総合学力調査」を先日2年生以上の子ども達が実施いたしました。このテストには国語や算数などの教科の他に「生活実態」を把握するアンケートもありました。そのアンケートの『ゲーム機やスマホに関する質問項目』をまとめた本校児童の実態が下の一覧のとおりとなっています。

質問1 ゲーム機やケータイをする時は、家の人と時間についてのルールを決めていますか？

	とても当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
中学年	53人	6人	4人	13人
高学年	41人	7人	6人	6人
全校計	94人 (69.1%)	13人 (9.6%)	10人 (7.4%)	19人 (14.0%)

質問2 授業がある月曜日から金曜日に、1日どれくらいゲームをしますか？

	ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間半くらい	2時間くらい	2時間半くらい	3時間以上
低学年	13人	9人	3人	2人	2人	1人	7人
中学年	29人	11人	12人	10人	4人	3人	7人
高学年	22人	6人	7人	11人	5人	1人	8人
全校計	64人 (37.0%)	26人 (15.0%)	22人 (12.7%)	23人 (13.3%)	11人 (6.4%)	5人 (2.9%)	22人 (12.7%)

質問3 土・日など、学校が休みの日に、1日どれくらいゲームをしますか？

	ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間半くらい	2時間くらい	2時間半くらい	3時間以上
低学年	14人	3人	4人	1人	2人	5人	8人
中学年	10人	18人	12人	4人	16人	6人	10人
高学年	22人	6人	7人	11人	5人	1人	8人
全校計	46人 (26.6%)	27人 (15.6%)	23人 (13.3%)	16人 (9.2%)	23人 (13.3%)	12人 (6.9%)	26人 (15.0%)

【3つの質問・回答から「見えてくること」など】

- ・ 望ましい生活とそうでない生活を送る子や家庭の『**二極化**』となっています。
望ましくない子の実態を、その保護者と期末面談などで共有する必要があります。
- ・ **乱用**している子は、高学年中心ではないという、憂慮する実態が浮かび上がっています。
- ・ かなりの「深さ」にまで入り込み、親が知らないところで、**ティックトック**や**ユーチューブ**などのサイトで、見ず知らずの『ネット上だけの友』と交流している子もいるかも知れません。
- ・ 自分の意志では歯止めが効かない、既に『**ゲーム障害**』の域の子も相当数いるかも知れません。



お子さんのゲーム機などの使用実態を今一度ご確認し、家庭のきまりの再確認をお願いいたします。ゲーム機などの無制限使用は、成長期の子ども「脳」を含めた心身を確実に蝕んでいきます。この件でお困りの場合、速やかに学校にご相談ください。